

上益城地域 通所支援事業所の紹介 (R7年3月現在)

【放課後等デイサービス版】

発行元：上益城地域療育ネットワーク会議

町	通所支援事業所名	児童発達支援		放課後等 デイサービス	
		親子	児のみ	親子	児のみ
御船町	児童発達支援センター わいわいなかま	○	○	○	○
	子ども発達支援 モーツァルト				○
	児童発達支援多機能型事業所 エルサ		○		○
	放課後等デイサービス エルサ 木倉教室				○
	障害児通所支援事業所 あすでい 御船		○		○
	児童発達支援・放課後等デイサービス なかにわ		○		○
嘉島町	ひだまり				○
	子ども支援室みらい 嘉島教室		○		○
	コンサート				○
	Switch 嘉島 With T-STEP	○	○		
	カルテット				○
益城町	ぴあすまいる				○
	きっずぴあ				○
	キッズキングダム				○
	子ども支援室みらい 益城教室		○		○
	障害児通所支援事業所 あすでい		○		○
	児童発達支援 わいわいなかま 益城教室	○	○	○	○
甲佐町	放課後等デイサービス えんぱわー				○
	放課後等デイサービス エルサ 甲佐教室				○
山都町	児童発達支援多機能型事業所 エルサ 山都教室		○		○



【療育】とは...

一人一人のお子さんのことを十分に理解し、発達や理解に合わせて、お子さんが日常生活を送りやすくするための方法を、専門性を持ってご家族と一緒に考え取り組んでいくことです。将来的には、お子さんが自分のことを知り、療育で学んだことを活かして、自立と社会参加の力になるよう必要な支援を提供していきます。

障害者手帳の有無に関わらず、専門職が「療育が必要」と判断した場合に利用できます。

児童発達支援・放課後等デイサービスってどんなところ？

児童発達支援（略：児発）

対象者：小学校就学前までのお子さん

どんなことをするの：ほとんどのお子さんが保育園等に就園しながら事業所を利用され、お子さんやその保護者に対して日常生活における生活スキル、コミュニケーション力、感情コントロールなどの支援(家庭での取り組みの提案等)、集団生活で過ごしやすいするための支援などを行います。

放課後等デイサービス（略：放デイ）

対象者：小学生から高校生までの就学しているお子さん

どんなことをするの：事業所では放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活スキル、社会性スキル、自分の得意不得意を知るなどの支援を継続的に提供することにより、お子さんの自立を促進するための支援を行います。家庭での取り組みの提案や、関係機関と連携をはかります。

保育所等訪問支援

対象者：集団生活を営む施設に通うお子さん

どんなことをするの：本人及び保護者が希望することで、保育園、幼稚園、小学校その他の集団生活を営む場所において、集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に利用します。お子さんが所属する場所を訪問して、特性に応じた集団生活の環境調整等、お子さん本人と訪問先機関職員に対して支援を行うものです。

利用できる日数や、利用できる条件は自治体によって異なります。詳しくはお住まいの自治体にお尋ねください。

放課後等デイサービス事業

事業所名 児童発達支援センター わいわいなかま



基本情報

住所	熊本県上益城郡御船町高木 4494-46
電話番号	096-282-4180
FAX 番号	096-282-4180
ホームページ	https://dekoboko

職種別従業者

管理者(職種)	栗原 秀子(保健師・養護教諭)
児童発達支援管理責任者(資格)	栗原 秀子(保健師・養護教諭)
保育所等訪問支援員(資格)	江口 真美子(保育士)
職員有資格 (■常勤 ☑非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 ☑医師 □看護師 □心理士 □理学療法士 ■作業療法士 □言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士 ☑教員免許 ■幼稚園教諭 □その他 (言葉の専門家)	

運営形態

家族同伴	土(第1、3)個別
単独(利用児のみ)	月・火・水・木・金
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発 単独 10時～11時 親子 10時～12時
	放デイ(平日) 12:00～17:00
	放デイ(土曜) 10:00～16:00
	放デイ(長期休暇) 10:00～16:00
定休日	日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間

内容

【平日の部】

13:30

送迎にて来所 荷物片付け

宿題

おやつ

お集まり

活動

- ・ルールを守る
 - ・ソーシャルスキルの向上
 - ・友達とやりとりをする
 - ・自立プログラム
 - ・適応行動(適切な行動)の促進
 - ・性教育
- (野外活動(釣り、キャンプ、散歩、山登り)、音楽、制作、フラダンス、体操教室)



17:00

送迎にて帰宅

【土曜の部】

午前

保護者による送迎

9:00～12:00

○1年生クラス

○SST 母子関係構築

○自立プログラムクラス



午後

14:00から15:30

○SST グループ

○コミュニケーションを活かした運動クラス

※活動内容は平日に準じる

【長期休暇の部】

10:00

送迎にて来所 荷物片付け

宿題

活動 プール

お弁当/歯磨き

14:00

活動 外出

※活動内容は平日に準じる

16:00

送迎にて帰宅

Q & A 放課後ディサービス

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

①健康・生活

- ・メディアとの付き合い方
- ・保清について(入浴、歯磨き)
- ・お手伝い(家族としての役割)
- ・身だしなみを整える
- ・体調の把握

②運動・感覚

- ・運動課題を通して成功体験を積む
- ・2つ以上の部位を一緒に動かす運動の促進(目と手、目と足、手と足)
- ・苦手な感覚を理解し防ぐことと、活かすこと

③認知・行動

- ・見通しを持って活動する力、判断する力
- ・見て、聞いて理解し計画を立てることができる。
- ・気持ちの切り替え、感情コントロール
- ・気持ちの持続

④言語・コミュニケーション

- ・意見を言う、意見を聞く、話合いをする。
- ・相手の気持ちを理解する
- ・自分の役割を理解する
- ・語彙数、表現力の向上

⑤人間関係・社会性

- ・友達関係の中での悩みのとらえ方、心の処し方
- ・協力する力
- ・スケジュールに沿って活動ができる。ルールに沿って活動ができる。
- ・場面に応じた話し方や態度
- ・公共の場での過ごし方

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・ 中学、高校進学時に学校を訪問して情報提供をしています。
- ・ 相談を受け、学校訪問の同伴をしています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・ 相談は常に受付けています。
- ・ 保護者同伴療育では、振り返りを行い、日頃の様子についてもアドバイスをしています。
- ・ 自立プログラムでは、家庭に出向いて支援をしています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

・ 保護者さんからの相談、園や学校からの相談を受けて、園や学校を訪問し、先生方とお話しした結果を保護者さんにお伝えしています。家庭や学校で少しでも過ごしやすい状態になるように支援しています。

特別支援クラス在籍児童(現在 4 年生)さんが、校庭等で大好きな虫取りをしてなかなか教室にすることができない状態がありました。1 年生の時から支援に入り、虫取り網を校長先生に預け、「虫取り網を下さい」と伝えにいく、虫は教室に入れない、等のルールづくりをお願いしました。学年が上がってからも支援をし、「学校とは」と言うソーシャルスキルを作り、学校が勉強をするところだと言うことを認識できるように支援していきました。訪問後は必ず先生方と情報を共有し、取り組んで頂けることを確認しました。また、保護者さんにもご報告をしました。受診することを強く拒んでおられましたが、学校と協力しながら支援することで、受信にもつながり、内服薬の利用も始まりました。同時に保護者さんの対応への助言も行えて、ずいぶんと落ち着いた生活が遅れるようになってきました。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・ 「SST について」 ソーシャルワーカー 土屋 徹 氏 全員
- ・ ケース検討 2 回 「3 年男子 暴力暴言で表現する子どもの理解と対応について」
6 名参加
- ・ 「新版 K 式発達検査について」 宮本 佐和子 10 名参加
- ・ 「年中男子の運動評価」 中村 OT 10 名参加
- ・ 「障害者虐待～障害のある人もない人も共に生きる社会のために～」 10 名参加

- ・「ASD のコミュニケーション」 TEACCH プログラム研究会主催
- ・「就労について～ハローワーク上益城、熊本障がい者職業センターの取り組み～」1 名
- ・「事例検討会」 熊本県発達障がい医療センター主催 2 名参加

放課後等デイサービス事業

事業所名： 子ども発達支援モーツアルト



基本情報

住所	上益城郡御船町辺田見 361-4
電話番号	096-282-6035
FAX 番号	096-282-6184
ホームページ	http://npo-trinity.jp/

職種別従業者

管理者(職種)	大塚志津子
児童発達支援管理責任者(資格)	大塚志津子
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
□保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
■心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有(無)
	放課後等デイサービス 有(無)
	備考：
利用定員	10名/日
利用時間	児発
	放デイ(平日) 15:00~18:00
	放デイ(土曜) 第2・第4 10:00~12:00
	放デイ(長期休暇) 15:00~18:00
定休日	日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間

内容

15:00

順次登園 荷物の片付け

ひとりひとりに合わせた療育プログラムを実施

1対1 (先生とお勉強)
自分の興味関心の幅を広げます



プレイ

やり取りや社会性を学びます



タブレット

LDの支援・ICTのスキルを育てます



おやつ

社会スキルを学びます

子供の気持ちや健康状態に応じて柔軟にスケジュールを調整することがあります。子供たちに適したサポートを提供しています。

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 発達障害のある方の日常生活スキルを評価し、子供たちの自立や身だしなみに焦点を当てます。適切な支援や介入プログラムを設計し、個々のニーズに合わせた支援を提供します。それには、保護者との緊密な連携が重要であり、家庭や学校などの環境で連続した支援を確保します。定期的な評価とフィードバックを通じて、成長やスキルの向上を確認し継続的なサポートを通じて、子供たちが最大限の自立を達成できるよう支援します。発達障害の特有の感覚の過敏や感じにくさを専門的な視点で丁寧に調べます。感覚の問題は学習や生活にも大きな影響を与えることがあります。お子さんが落ち着いて過ごすことができる環境の提案をいたします。
- ② 発達障害の特有の感覚の過敏や感じにくさを専門的な視点で丁寧に調べます。感覚の問題は学習や生活にも大きな影響を与えることがあります。お子さんが落ち着いて過ごすことができる環境の提案をいたします。お子さんがより快適に過ごせる環境を提供することが大切で、お子さんの感覚の変化やニーズを確認しながら、最適なサポートを続けていきます。
- ③ 困った行動や心理的な不安などの原因を細かに調べ、ひとりひとりに合わせて、学びの場面を作ります。療育中の様子と同時に家庭や学校での様子も丁寧に聞き取りし、その子に合った学習スタイルを見つけ、その子に合った学び方を提案します。また、ABAやCBTなどの手法や個別面談での心理教育も行っております。
- ④ 場面に合ったコミュニケーションの仕方を心理教育やロールプレイなどで学びの機会を提供します。書字や読み書きなど、その子の「困った」を理解し、LD支援も個別に行っております。また、話すことが難しいお子さんには、絵カードによるコミュニケーション（Pecs）の指導も行っています。Pecsサークルでは地域移行の支援も行っています。コミュニケーションの苦手な子どもたちが自分の気持ちを上手に伝えられるよう、感情のコントロールも学んでいきます。
- ⑤ 家庭や学校でのその子と周囲の困り感を分析し、療育の中で場面設定をしながら、その子が自分から楽しい活動の中で、社会スキルの獲得ができるように学びの機会を作ります。また、個別のニーズに合わせたサポートプランを立て、彼らが安心して学べる環境を整えます。社会性の発達は一朝一夕には達成できませんが、小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感を育むことができ、子供たちは自信を持ち、自分の可能性を広げていくお手伝いをします。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- 進学や入学の際の大きな環境の変化は発達障害を持つ子どもたちにとって、大きなストレスや不安になります。わからないことは不安につながります。子どもたちにとって知っておくべき情報を学校や家庭と連携して細かに調べ、より理解度が高い視覚支援を使って、子どもの目線で情報提供をします。
- お子さんによっては、担任の先生から教室やくつばこの情報、進級することで変わる学校の活動や、進学では制服や校則、教科など、本人にとって負担と考えられることを一つ一つ丁寧に伝えていくことで失敗体験をなくし、スムーズな移行を支援します。
- また、中学校などで行われる職業体験では特別な支援を行っています。体験学習が円滑に進行するよう、療育の場面で職業体験と同様の環境を模擬し、練習することで不安を軽減しています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- 私たちのアプローチでは、療育後は、保護者の方々にお迎えをお願いしています。毎回、保護者との情報交換を直接行い、お子さんの懸念にリアルタイムで対応しています。
- 家族との連絡を円滑にするため、相談しやすい環境を整え LINE を活用した療育相談を行っています。さらに、療育の様子を動画で共有し、家庭での療育の方法や対応の仕方を理解しやすく説明し、保護者が実践しやすい方法を提案しています。
- 保護者や学校での問題についてお困りの際は、いつでも面談を受け付けています。また、Zoom などの Web 会議にも対応しています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- 学校やその他支援機関から支援や指導時のポイントなどの相談を受けることがあります。お子さんの集団活動での困り感があるときは、お子さんの特性や学習スタイルなどを分析したうえで、スキル獲得のコツや指導場面での声掛けの仕方や視覚支援の効果的な使い方などをお伝えしています。
- 発達障害を持つ児童が自分のことを知って欲しいと希望したため、学校・保護者と相談し、担任の先生とインクルーシブ教育の時間を設けてもらい、クラスメイトに自分の障害特性の表明の取り組みをしました。
- 学校や諸機関の方を対象に、発達障害の感覚の特異性の実体験を実施しました。いろいろなツールや道具を使い、発達障害の方がどのような感覚で過ごしているかを体験する

ことで、発達障害への理解と配慮が高まったようです。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ひとりひとり対応が違う発達障害の方をより深く理解するために、スタッフには研修の助成を行っています。
- 令和5年度に実施した研修 (延べ人数)

■ Pecs アドバンスセミナー・実践報告	2回	2名
■ ABA 実践セミナー	10回	15名
■ 愛着障害	2回	2名
■ ソーシャルストーリー	1回	5名
■ TEACCH トピックセミナー	1回	5名
■ 感覚プロファイル	1回	5名
■ 発達障害の包括的アセスメント	1回	1名
■ LD 支援セミナー	1回	5名

放課後等デイサービス事業



事業所名 児童発達支援多機能型事業所エルサ

基本情報

住所	上益城郡御船町木倉22-4
電話番号	096-202-2002
FAX 番号	096-202-2002
ホームページ	https://www.kitchenbless.jp

職種別従業者

管理者(職種)	高宮佐久美(教員免許)
児童発達支援管理責任者(資格)	高宮佐久美(教員免許)
保育所等訪問支援員(資格)	本山佳奈(保育士)
職員有資格(☒ 常勤 ☒ 非常勤)	
☒ 保育士 ☒ 児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☒ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☒ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭 ☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独(利用児のみ)	利用児のみ
保育所等訪問支援事業	実施

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 ☒ 有 / ☐ 無
	放課後等デイサービス ☒ 有 / ☐ 無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発 10:00~13:00
	放デイ(平日) 14:00~17:30
	放デイ(土曜) 10:00~17:30
	放デイ(長期休暇) 10:00~17:30
定休日	日曜日

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
<休日>	
10:00	来所・荷物片づけ バイタルチェック 「個別学習」「先生とお勉強」 「プレイ」エリアでの遊び、 「本読み」、「制作」、「DVD」 「フリータイム」 などスケジュールに沿った活動
12:00	手洗い 昼食 歯磨き 「個別学習」「先生とお勉強」 「プレイ」エリアでの遊び、 「本読み」、「制作」、「DVD」 「フリータイム」 などスケジュールに沿った活動
	※上記の活動の中に、 午後のグループ活動を組み込む
17:30	終了
<平日>	
14:00	学校の下校時間に合わせてお迎え 来所・荷物片づけ バイタルチェック
	スケジュールに沿って個別活動
17:30	終了

Q & A 児童発達支援多機能型事業所 エルサ

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 構造化等により生活環境を整え、時間や空間を本人にわかりやすく構造化し、見通しを持って活動できるようにしていく。
- ② 遊び等を通して、それぞれに必要な感覚を刺激し、発達を促す。
- ③ 環境から情報を取得して行動につなげ、認知過程の発達につなげる。
- ④ 自分の要求や気持ちを発信できるように支援する。
- ⑤ 遊び等を通して、社会性や対人関係を学ぶ。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・就学先、進学先、事業所変更の際は他事業所との移行支援会議に参加します。
- ・情報提供を行います。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・ご家族のご要望に合わせてご相談に応じます。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・園や学校からのご相談等に対応いたします。
- ・これまでも園や学校と話し合いを行い、同じ方向性で役割を分担して支援を行ってきたケースが多数あります。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・令和5年度障がい者虐待防止のためのオープンセミナー(1名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者基礎研修(2名)
- ・令和5年熊本県相談支援従事者初任者研修(2名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者専門コース別研修【意思決定支援(応用編)】(2名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者専門コース別研修【障害児支援】(2名)
- ・MWT協会ビジョントレーニング2級資格認定講座(新規・再受講含め、のべ5名)
- ・MWT協会ビジョントレーニング1級資格認定講座(再受講1名)
- ・MWT協会ビジョントレーニングインストラクター資格認定講座(再受講1名)

<公認心理師受講研修>

- ・日本 K-ABC アセスメント学会 2023 年度日本語版 K - ABC II ベーシック講習会
- ・日本公認心理師協会 2023 年度第 1 回専門研修 I
- ・日本公認心理師協会 福祉分野委員会・児童福祉領域研修会（基礎コース）
- ・日本公認心理師協会 WISC-V 知能検査活用の基礎(検査結果と発達支援実践の橋渡し)
- ・日本公認心理師協会 第 2 回 子どもの発達支援委員会研修
「こども家庭庁の目指すもの～子どもの権利擁護と親支援の視点から～」
- ・第 3 回日本公認心理師学会学術集会静岡大会
「WISC-V 知能検査の“正しい”理解と活用」
「自分を傷つけずにはいられない人の理解と援助」
「ASD 当事者における感覚の特異性について」
「PTMF～医学モデルに依らない心のケアの包括的パラダイム～」
「公認心理師業務に活かす組織心理コンサルテーション」
「協働的/治療的アセスメントー見えない心を可視化するー」
- ・第 3 回日本公認心理師学会学術集会静岡大会
「臨床姿勢としてのメンタライゼーション～多岐にわたる臨床実践に共通する
「こころに関わる」営みとは」
- ・T.O.P.S. 包括システムによるロールシャッハ・テスト〈エクスナー法〉講習会
株式会社ポルトクオーレ
包括システム初級講座@神戸
- ・日本公認心理師協会 高次脳機能障害支援のための神経心理アセスメント研修会
- ・日本 K-ABC アセスメント学会 第 3 回中央事例研究会
「継次処理が高く語彙に課題がある難聴児童への言語指導」
- ・日本公認心理師協会 高次脳機能障害支援のための神経心理アセスメントの実際
- ・日本公認心理師協会 第 2 回 児童福祉領域研修会（基礎コース）
- ・日本カウンセリング学会カウンセリング心理士会
2023 年度「第 4 回相互研究（研修）会
- ・包括システムによる日本ロールシャッハ学会 第 2 回解釈講座
- ・日本公認心理師協会 2023 年度第 4 回専門研修 II
- ・アスペエルデの会 Vineland II 講習

放課後等デイサービス事業



事業所名：放課後等デイサービス エルサ 木倉教室

基本情報

住所	上益城郡御船町木倉 1131-4
電話番号	096-200-7875
FAX 番号	096-200-7875
ホームページ	http://www.kitchenbless.biz

職種別従業者

管理者(職種)	中村枝里香 (教員免許)
児童発達支援管理責任者 (資格)	中村枝里香 (教員免許)
保育所等訪問支援員 (資格)	新島真琴(児童指導員)
職員有資格 (■常勤 ☑非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師 □心理士 □理学療法士 □作業療法士 □言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士 ■教員免許 □幼稚園教諭 ■その他 (指導員)	

運営形態

家族同伴	×
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	○

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有/無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考：遠方の場合は要相談
利用定員	10 名/日
利用時間	児発
	放デイ(平日) 13:30-17:30
	放デイ(土曜)
	放デイ(長期休暇)13:00-17:00
定休日	土日・年末年始

活動内容～放課後利用のスケジュール(例)～

時間	内容
15:00 頃	学校へお迎え 来所 手洗い・バイタルチェック 個別課題① デジタル教材『すらら』 フリータイム SST を兼ねた他児との交流 フリータイム 個別課題②
17:30 頃	退所 それぞれのご自宅へ送る ※学校休業日は、 グループ活動を行います。

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
- ⑤人間関係・社会性

・活動エリアの構造化や個別のスケジュール提示など、さまざまな特性をお持ちの方でも安心して過ごせるようにし、さまざまな活動の機会の提供します。

・見る力を養うことでさまざまな発達を促します。

・絵カードや手順書などの視覚ツールを活用しながらコミュニケーションの練習を行います。

・集団活動に参加する機会を提供します。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

・事業所や居宅、オンラインなどで相談、援助を行っています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

・学校送迎時での情報共有や会議への参加、保育所等訪問支援を行っています。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

意思決定支援、強度行動障がい支援者養成、ビジョントレーニング指導者2級資格認定講座、虐待防止、ハラスメント、ソーシャルスキルトレーニング、発達障害特性理解、すらら勉強会への参加等

放課後等デイサービス事業



事業所名 障害児通所支援事業所あすでい 御船

基本情報

住所	上益城郡御船町木倉 1125-5
電話番号	096-282-6635
FAX 番号	096-282-6638
ホームページ	https://www.big-advance.site/s/156/1514

職種別従業者

管理者(職種)	須藤 博喜
児童発達支援管理責任者(資格)	須藤 博喜
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
□保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考 :
利用定員	10 名/日 (児発・放デイ 通じて 10 名)
利用時間	児発 9 : 30~12 : 00
	放デイ(平日) 14 : 30~17 : 00
	放デイ(長期休暇) 10 : 00~15 : 00
定休日	土、日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
14 : 30	順次来所
14 : 30～	それぞれのスケジュールに従って自立した活動をする (スケジュールの内容・・・プレイ、ワーク、カーン、ブック、タブレット、先生勉強など)
17 : 00	帰宅

【具体的支援】

- ① TEACCH の考えに基づいた構造化を利用した自立支援
- ② ソーシャルストーリーやコミック会話の手法を用いた支援
- ③ PECS の考えに基づいた絵カードを用いたコミュニケーション支援

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

下記5領域に関して、本人の特異性を評価しながら、TEACCHの構造化・PECS・ソーシャルストーリー・コミック会話等を利用して、支援を実施している。

① 健康・生活

- ・スケジュール活動を通して、生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要なスキルの獲得

② 運動・感覚

- ・視覚優位／感覚の過敏性の特異性を活かした支援

③ 認知・行動

- ・感覚の特異性を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す

④ 言語・コミュニケーション

- ・受容言語と表出言語の獲得

⑤ 人間性・社会性

- ・自己の理解とコントロール
- ・自分の行動の特徴を理解するとともに、自分の気持ちや情動を知る

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行先の保育所・小中高校等への支援と支援体制の構築のため、援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達のミーティングを実施しています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援
- ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整等

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

園や学校からの相談等受けています。

これまでの取り組み・・・ASD の特性についての職員研修、学校行事の参加に対しての対策・方法の提供、学校でのクールダウンのための対策・方法の提供

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・あすでい勉強会 ～構造化～(令和5年4月21日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～学習スタイル～(令和5年6月16日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～ASDのコミュニケーション～(令和5年9月15日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～自閉症スペクトラムの理解と支援～(令和5年11月17日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～ASDの学習スタイル～(令和6年2月16日)／職員全員

放課後等デイサービス事業

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なかにわ



基本情報

住所	上益城郡御船町豊秋 2021
電話番号	050-1724-4499
FAX 番号	096-300-3164
ホームページ	https://www.rapland.org/

職種別従業者

管理者(職種)	中村 丈聖
児童発達支援管理責任者(資格)	中村 丈聖
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
□保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
■教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	単独 (利用児のみ)
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	通じて 10 名/日
利用時間	児発 9:00~17:00
	放デイ(平日) 12:00~17:00
	放デイ(土曜)
	放デイ(学校休養日・長期休暇)10:00~17:00
定休日	土日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
児発	
9:00	事業所着
9:00~12:00	自由時間 個別サポート
12:00~13:00	昼食
13:00~17:00	集団活動 個別サポート
17:00~	帰宅
放デイ	
10:00	事業所着
10:00~12:00	自由時間 個別サポート
12:00~13:00	昼食
13:00~17:00	自由時間 個別サポート
17:00~	帰宅

- ・コミュニケーショントレーニング
- ・小規模集団活動トレーニング
- ・発話トレーニング
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・危険認知行動療育
- ・食育
- ・生活トレーニング
- ・料理、工作、数字等
- ・その他個性に合わせたプログラム療育

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

児童一人ひとりに応じた個別の目標を立て、遊びを通じて子どもたちの社会で社会性や自立心を育み、日常生活での生活力や感情などの自己管理ができるようになる。また、周囲の事象への認知や人間関係の適切なコミュニケーションがとれるようになることを目標として支援を行います。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

学習支援シートやケース会議への積極的な出席、また他事業所への移行についても移行先の事業所に合わせた共有や提案を行います。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

通常の業務以外では、専門的な家族支援は行っておりません。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

保育園や学校での様子をお伺いすることや、実際に様子を見学させていただくことがあります。また園や学校からの相談も受け付けており、できる限りの支援の提案や協力を行いよりよい療育を行います。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和6年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

強度行動障害の研修及び実習や、介護職員初任者研修などの資格を取得を行いました。また社内の職員全員を対象とした、外部の講師を呼んでの療育についての研修や虐待防止についての研修を行いました。

放課後等デイサービス事業

事業所名 放課後等デイサービス ひだまり事業所



基本情報

住所	上益城郡嘉島町上仲間 807-3
電話番号	096-235-6070
FAX 番号	096-235-6071
ホームページ	kyushu-outreach-project.com

職種別従業者

管理者(職種)	岩崎 みゆき
児童発達支援管理責任者(資格)	岩崎 みゆき
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 ☒ 精神保健福祉士	
■教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有/無
	放課後等デイサービス ☒ 有/無
	備考:
利用定員	10 名/日
利用時間	児発
	放デイ(平日) 10:00~17:00
	放デイ(土曜)
	放デイ(長期休暇) 10:00~17:00
定休日	土日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
15:00	送迎後、順次来所 荷物の片付け・おやつ 自由時間：各自自分で過ごし方を決めて宿題などに取り組む。
16:00	活動：製作、運動遊び、レクレーション、クイズなど ・手先を動かす練習 ・集団活動 ・ルールやマナーを守る練習 ・集中力や想像力を養う練習 など



16:30	自由時間
16:50	片付け、帰りの会：配車のお知らせ 帰る準備

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ①学校後の生活リズムを整えます。月に一度歯磨きの練習や、生活に関するお子さまの苦手や困り感をくみ取り一緒に練習していきます。
- ②活動の中で五感を十分に活用した遊びを取り入れ、体験を積み重ねて経験を増やしていきます。【スポーツチャンバラや洗濯物干しチャレンジなど…楽しい活動がたくさん♪】
- ③活動の流れや時間の使い方に見通しを立てて、それぞれが自ら動けることを目標にしています。子ども達それぞれに合わせた方法で視覚支援や声掛けを行っています。
- ④自分の気持ちを伝える、自分の考えを整理し表現するコミュニケーションを学んでいきます。
- ⑤たくさん友達や指導員とのかかわりを持ちながらソーシャルスキルを高めていきます。みんなと一緒に楽しい時間を過ごし共有する喜びを感じてほしいです。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

就学や進学にむけてご家族からお話を聞き、進路に合わせた目標を立てて、支援につなげていきます。新たな環境に進むことは誰でも不安です。情報をお伝えしたり、ご家族のご意向に寄り添って環境の変化に対応していけるようにサポートします。

中・高校生になると、将来についてどうしていきたいか考えていかなくてもなりません。

本人と面談をしながら一歩ずつ前に進めるように話し合いサポートしたりします。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

年に一度の茶話会があり、指導員やご利用児童の保護者様が集いお話しする機会があります。その他、不安なことがあればいつでも電話や面談にてご相談にのります。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

可能です。

学校と連携して、それぞれの場所での過ごし方や様子、課題を共有していきます。

子ども達が学校で楽しく過ごし、安心して学べる環境を整えるために協力し合える関係を目指しています。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和５年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

定期支援。

- ・熊本県障害者虐待防止・権利の擁護研修
- ・強度行動障害支援者養成研修
- ・上益城圏域障害児通所支援事業所スタッフ研修
- ・ソーシャルスキルトレーニング

その他、管理者、スタッフ共に、随時様々な研修に参加しております。

放課後等デイサービス事業

事業所名 子ども支援室みらい 嘉島教室



基本情報

住所	上益城郡嘉島町上六嘉 1382-2
電話番号	096-237-5888
FAX 番号	096-237-5888
ホームページ	https://miraipark.com

職種別従業者

管理者(職種)	大塚富美子 (児発管)
児童発達支援管理責任者 (資格)	大塚富美子 (教員免許)
保育所等訪問支援員 (資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
☒ 保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師 ☒ 心理士 □理学療法士 □作業療法士 ☐ 言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士 ☒ 教員免許 ☒ 教員免許 ☒ 幼稚園教諭 ☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	子どものみのグループ療育です。 相談は随時受け付けます
保育所等訪問支援事業	若葉教室にあり (併用可)

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無 放課後等デイサービス (有)無 備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発: 月、火、木、金 13時20分から15時まで 放デイ(平日) 下校時間から17時30分まで 放デイ(土曜) 9時50分から11時30分まで 放デイ(長期休暇) 10時から16時まで
定休日	日曜日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
下校時間	学校または自宅まで迎え ・健康観察など
15:00	順次検温、手洗いうがい、荷物の片付け フリータイム (自由遊び) など ・おやつ ・自由遊び ・ルールを守って遊ぶ力をつける ・他の人とのコミュニケーション力をつける
15:50	かたづけ・活動の準備
16:00	みらいタイム 自立活動 グループ活動 ・集中、注目、聞く力をつける ・日常の基本的動作、他者とのかかわり方を学ぶ ワーク ・電卓 ・手順の理解、成功体験の積み増し、 ・自己選択自己決定で自立して活動する 学びタイム (SST、ワーキングメモリーなど) ・自己肯定感をはぐくむ (学習の準備、水分補給など)
16:30	学習 (宿題・みらいシート、ぬりえ、おりがみ) ・自席で集中する力をつける ・報告、援助要請の力をつける
16:35	(かたづけ、水分補給など)
17:05	ほっとタイム (自由に遊ぶ) ・他者とのかかわり方を学ぶ ・ルールを守って遊ぶ
17:25	帰る準備 ・楽しかった気持ちを共有する
17:30	送り・安心安全に送る

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

① 健康・生活

- ・手指、目のトレーニング・生活に必要な技能習得（みらいタイム）
- ・スケジュールの確認（みらいタイム）
- ・自席で集中（みらいタイム・学習・ワーク）
- ・創作活動、栽培、制作（余暇活動）

② 運動・感覚

- ・ジャンプ、体幹トレーニング（みらいタイム）
- ・姿勢の保持、リズム遊び（みらいタイム、グループ活動、運動）
- ・手指や目を使った課題への取り組み（ワーク）

③ 認知・行動

- ・聞くトレーニング、数量・大小・色などの習得（みらいタイム）
- ・感情のコントロール、応援する気持ち（グループ活動）
- ・手順書の確認（ワーク）
- ・報告、援助要請（学習、ワーク）

④ 言語・コミュニケーション

- ・あいうべ体操、舌の運動（みらいタイム）
- ・フラッシュカード、読み聞かせ（みらいタイム）
- ・連絡、相談、報告（ワーク、学習）
- ・ソーシャルスキルかるた、ワーキングメモリー、（学びタイム）
- ・他者とのかかわり（余暇活動）

⑤ 人間関係・社会性

- ・模倣、ルールを理解して取り組む（グループ活動、学びタイム）
- ・チームでの活動（グループ活動）
- ・自己選択、自己決定、自立活動（ワーク・学びタイム）
- ・自分の考え、他の人の考え、考え方の多様性を学ぶ（学びタイム）
- ・他者とのかかわり（余暇活動）
- ・SST こんなときどうする。（学びタイム）

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・移行支援シート作成
- ・就学先、進学希望先の見学同行
- ・就学、進学先の関係機関との連携会議をする。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子育て学習会
- ・面談（個別支援作成の見直し時期に合わせて年2回）
- ・随時相談援助

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・可能です。(教室の見学可 相談があれば出向いて会議も可)
- ・ご利用児の関係機関との連絡会議
- ・モニタリング時に園や学校の先生も一緒に情報の共有

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・OJT研修
- ・療育センター実施のスキルアップ研修
- ・上益城圏域の全員研修
- ・社内研修

放課後等デイサービス事業



事業所名コンサート

基本情報

住所	上益城郡嘉島町鯉 1755 - 2
電話番号	096 - 288 - 9530
FAX 番号	096 - 288 - 9540
ホームページ	happy-light.co.jp

職種別従業者

管理者(職種)	富 泰仁 (児童指導員)
児童発達支援管理責任者 (資格)	富 泰仁 (児童指導員)
保育所等訪問支援員 (資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 ■精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	放課後等デイサービス 有 備考:
利用定員	10 名/日
利用時間	放デイ(平日) 15:00 ~ 18:00 下校時間が早いときは限りではない 放デイ(土曜) 9:00 ~ 18:00 放デイ(長期休暇) 9:00 ~ 18:00
定休日	日曜日・年末年始 (12月31日・1月1日・2日・3日)

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
	平日
15:45	学習支援 (個別にて自分でできる範囲)
16:15	おやつ
16:25	はじまりの会
16:30	集団活動 (5療育の視点を目的として)
	1か月ごとに活動を決めて担当 制にて実施
17:00	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
17:45	帰りの準備
18:00	最終送迎
	休日
10:00	はじまりの会
10:15	学習支援 (個別にて自分でできる範囲)
11:00	集団活動 (5療育の視点を目的として)
12:00	昼食
13:30	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
14:00	集団活動 (5療育の視点を目的として)
15:30	おやつ
16:00	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
16:45	帰りの準備
17:00	最終送迎

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

スケジュールに合わせてそれぞれ意図・目的をもって取り組んでいます。その中でも 16：30 分ごろから 30 分～40 分程度の集団活動に 5 領域の視点を目的にして取り組んでいます。集団活動の内容は月ごとに決めて子どもたちやご家族に提示しています。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行支援にあたるかはわかりませんが、個別支援計画見直しのための保護者面談時などに進学・転籍などの相談を受けることはしています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

年に 2 回法人全体で保護者交流会を実施しています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

ご希望があれば受けることはできます。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

・上益城圏域スキルアップ研修

放課後等デイサービス事業



事業所名カルテット

基本情報

住所	上益城郡嘉島町鯉 2764
電話番号	096 - 282 - 8024
FAX 番号	096 - 282 - 8026
ホームページ	happy-light.co.jp

職種別従業者

管理者(職種)	喜田川 ひとみ (保育士)
児童発達支援管理責任者 (資格)	喜田川 ひとみ (保育士)
保育所等訪問支援員 (資格)	小玉明日美 (児童指導員)

職員有資格 (■常勤 □非常勤)

☒ 保育士 ☒ 児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師
☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士
☐ 言語聴覚士 ☒ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士
☐ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭
☐ その他 ()

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	○

サービス内容

送迎の実施	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	10 名/日
利用時間	放デイ(平日) 15:00 ~ 18:00 下校時間が早いときは限りではない
	放デイ(土曜) 9:00 ~ 17:00
	放デイ(長期休暇) 9:00 ~ 17:00
定休日	日曜日・年末年始 (12月31日・1月1日・2日・3日)

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
	平日
15:45	学習支援 (個別にて自分でできる範囲)
16:15	おやつ
16:25	はじまりの会
16:30	集団活動 (5療育の視点を目的として)
	1か月ごとに活動を決めて担当 制にて実施
17:00	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
17:45	帰りの準備
18:00	最終送迎
	休日
10:00	はじまりの会
10:15	学習支援 (個別にて自分でできる範囲)
11:00	集団活動 (5療育の視点を目的として)
12:00	昼食
13:30	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
14:00	集団活動 (5療育の視点を目的として)
15:30	おやつ
16:00	自由活動 (自分で考えて選択して活動する)
16:45	帰りの準備
17:00	最終送迎

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

スケジュールに合わせてそれぞれ意図・目的をもって取り組んでいます。その中でも 16：30 分ごろから 30 分～40 分程度の集団活動に 5 領域の視点を目的にして取り組んでいます。集団活動の内容は月ごとに決めて子どもたちやご家族に提示しています。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行支援にあたるかはわかりませんが、個別支援計画見直しのための保護者面談時などに進学・転籍などの相談を受けることはしています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

年に 2 回法人全体で保護者交流会を実施しています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

ご希望があれば受けることはできます。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・上益城圏域スキルアップ研修
- ・虐待防止セミナー
- ・障害児通所事業所全体研修
- ・上益城圏域スタッフ研修



基本情報

住所	上益城郡益城町広崎 932-2
電話番号	096-288-7233
FAX 番号	096-288-7233
ホームページ	http://www.tomita-group.com/

職種別従業者

管理者(職種)	長野 文
児童発達支援管理責任者 (資格)	長野 文
保育所等訪問支援員 (資格)	
職員有資格（☒常勤 ☒非常勤）	
☒ 保育士 ☒ 児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☐ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭 ☐ その他（ ）	

運宮形態

家族同伴	未実施	
単独（利用児のみ）	実施	
保育所等訪問支援事業	未実施	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有/無
	放課後等デイサービス 有
	備考：
利用定員	10 名／日
利用時間	児発 未実施
	放デイ(平日) 14：00～17：00
	放デイ(土曜) 休み
	放デイ(長期休暇) 12：00～17：00
定休日	土日祝日・お盆（8/13～8/15） 年末年始（12/29～1/3）

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
放課後	下校後 学校へ迎え ① 連絡帳提出、荷物の片付け ② ストレッチ ③ 個別療育 ・運動機能向上トレーニング ・手指先のトレーニング ・机上作業、課題プリント ・日常生活動作訓練 ・ソーシャルスキルトレーニング ・季節の制作 ④ おやつ ⑤ 集団療育 ・屋外屋内にて集団でのルールのある遊び及び運動 ・地域清掃活動、地域の公園での遊び ⑥ 帰りの会 ・評価 ⑦ ご自宅へ送迎、お迎え
17:00	
学校休校日	(延長支援を必要とする利用児童) ご自宅へ迎え 来所 活動 10:00 12:00 ご自宅へ迎え お昼ご飯 13:00 ① 集団療育 ・ストレッチ (ヨガ) ・手指先のトレーニング ・制作 ・クッキング ・社会科見学 15:30 ② おやつ ③ 集団療育 ・屋内屋外にて集団でのルールのある遊び及び運動 ・ビジョントレーニング ・体幹トレーニング 16:40 ④ 帰りの会 ・評価 17:00 ⑤ ご自宅へ送迎、お迎え

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

日常生活での困り感軽減、家族（保護者）の育児負担軽減、感覚統合、自己肯定感を高めるため、集中力を身に付けるため、意欲向上、協調性社会性の構築、得意強みの探求、称賛される経験、経験値を積むため、愛される人になるため、社会のルールマナーの学習、

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

就学や進学に向けて公共交通機関の使い方、通学方法の確認アドバイス、自転車練習、制服着脱時の困り感の確認と着脱の練習のアドバイス

進学後は、連携会議の開催依頼

事業所変更で依頼がある場合のみ情報提供を行う

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

毎月配布するお便りの中に情報を掲載する。送迎時やモニタリング時などに相談を聞いた
り、これまでの保護者様や経験談の好事例の情報を提供している。

ペアトレや講習会などの資料配布。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

可能

これまでの取り組み例は記憶するところではない。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

外部での研修は上益城地域療育センターさんが主催された研修会のみです。

他は社内研修です。

放課後等デイサービス事業

事業所名 きっずぴあ



基本情報

住所	益城町広崎 864-2
電話番号	096-284-1129
FAX 番号	096-284-1129
ホームページ	http://www.tomita-group.com/publics/index/31/

職種別従業者

管理者(職種)	安部昭江 (保育士)
児童発達支援管理責任者(資格)	安部昭江 (保育士)
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
☒ 保育士 ☒ 児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☒ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☐ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭 ☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 無
	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	10 名/日
利用時間	児発 なし
	放デイ(平日) 下校時間~17:30
	放デイ(土曜) なし
	放デイ(長期休暇・休校日) 10:00~17:30
定休日	土日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～ (平日)

時間	内容
来所	個別課題
	自由時間
14:30	活動①
	自由時間
15:30	活動②
	自由時間
16:30	おやつ
17:00	活動③
17:30	帰りの会

活動内容は、その日の児童に合わせて準備します。

①は下校が早い低学年向けの活動になります。

②③は、制作や公園での活動、ゲームなどが多いです。

活動は、みんなで一緒にルール、コミュニケーション、手先の動き、体全体の動きなど5領域に準じて取り入れています。

活動は、みんな一緒に始めます。

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 自分の健康状態の把握、生活リズムの安定、身辺自立、清潔な環境での生活
② 体幹の確立、上肢・下肢運動の確立、手先の動き、5 感覚、固有覚、前庭覚の感覚訓練
③ モノの把握（感覚領域）、空間認知、数や時間の認知、季節や場所、人の認知
④ 児童にあったコミュニケーション方法の確立、他者、場面に応じたスキルの習得
⑤ 他者との関わり方、自分の行動の把握、社会のルールを知り、行動することが出来る
など

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

連携会議や担当者会議に参加するようにしている。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

相談については、いつでも受けており、送迎時などの話しから相談になることもある。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

可能です。学校とケース会議を行い連携を計ったことがある。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

・上益城圏域の療育研修

「放課後等デイサービスガイドライン」に添った支援
就労支援について

・その他、個人で休日に参加し、朝礼などで復講している

放課後等デイサービス事業

事業所名 放課後等デイサービス キッズキングダム



基本情報

住所	上益城郡益城町古閑67-17
電話番号	096-234-7734
FAX 番号	096-234-7744
ホームページ	

職種別従業者

管理者(職種)	金森 まり(介護福祉士)
児童発達支援管理責任者(資格)	金森 まり(介護福祉士)
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	希望があれば
単独 (利用児のみ)	
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有(無)
	放課後等デイサービス (有)無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発 なし
	放デイ(平日) 下校時間~17:30
	放デイ(土曜) 休み
	放デイ(長期休暇・休校日) 10:00~17:30
定休日	土日祝日・お盆・年末年始

活動内容 ~登校時~

時間	内容
下校後	順次来所 荷物の整理など 運動 (トランポリンなど)
	学習 机上課題・個別課題 ・道具の使い方を学ぶ ・ビジョントレーニング ・作業訓練で手先を動かす力をつける ・個人に合わせた課題内容の提供
	小集団活動 ・少ない集団の中で過ごし、意見を発信しやすい場所作り ・ルールや手順を学ぶ ・移行する切り替えの経験を積む
16:00	おやつ (日直はお皿洗いの支援)
16:40	自由時間 集団活動 ・周りに合わせた行動をする ・ルールや手順を学ぶ ・活動を通して力加減や感情のコントロールを行う ・応援など他者を思いやる気持ちを育む
17:15	読み聞かせ 帰りの会 (日直さんの司会)

活動内容 ~長期休暇~

10:00	順次来所 荷物の整理など 体操 運動 (ダンス) 体を動かす楽しさを感じる
	学習 机上課題・個別課題 (同上)
11:40	小集団活動 (同上)
12:00	昼食
12:30	自由時間
13:00	集団活動 (①屋外活動 または ②室内活動) ①屋外活動 ・体験学習を通して社会的ルールやマナーを学ぶ ②室内活動 ・制作で作品を仕上げる達成感を感じる。
16:00	おやつ 集団活動 (同上)
17:15	読み聞かせ 帰りの会

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 身辺自立・体調管理・清潔に保つ・整理整頓・食事に関するルールやマナー・食育
- ② 遊びや運動を通して感覚の統合を目指す・気分転換・出来ることを増やしていく
- ③ 自分でスケジュールを立て移行できる・周囲に合わせて行動する
- ④ 読み聞かせを通して言葉の語彙を増やす・自分の意見を言葉や文字にする・相手の気持ちを考えることができる
- ⑤ 他者にヘルプを出せるようになる・周りを見て合わせるができる・他者との距離感がわかる・公共交通機関が利用できるよう支援する

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行先への情報提供、または必要時には移行支援会議を行い安心して過ごしていただけるようお手伝いをします。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

随時対応しております。

ご依頼時や必要時応じて支援会議を行い、保護者様の悩みや不安などを傾聴します。また、児童の様子や有効な支援法などをお伝えし、ご家庭に合った支援法を提案することで児童が過ごしやすい環境を作っていきます。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

随時対応しております。

必要時に応じて支援会議を行い、学校と情報を共有し児童が過ごしやすい環境を整えられるようお手伝いをします。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

社内研修：・発達障害について

・行動分析について

・自閉症スペクトラム症及び発達障害の特性について

・モニタリングの目的と実施手順について

・放課後等デイガイドラインの概要の周知

- ・人権学習
- ・思春期支援のポイント解説について
- ・虐待防止研修、身体拘束防止マニュアル読み合わせ

上益城圏域研修：・「児童発達支援ガイドライン」「放課後等デイサービスガイドライン」に
そった支援

- ・就労支援について
- ・3年目スタッフ研修

放課後等デイサービス事業

事業所名 子ども支援室みらい 益城教室



基本情報

住所	上益城郡益城町大字古閑7-4
電話番号	096-200-7089
FAX 番号	上記に同じ
ホームページ	http://miraipark.com/

職種別従業者

管理者(職種)	野崎 航介
児童発達支援管理責任者(資格)	野崎 航介
保育所等訪問支援員(資格)	

職員有資格 (■常勤 □非常勤)

☐保育士 ■児童指導員 ☐医師 ☐看護師
☒心理士 ☐理学療法士 ☐作業療法士
☐言語聴覚士 ☐社会福祉士 ☐精神保健福祉士
☒教員免許 ☐幼稚園教諭
☒その他 (認定心理士)

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	放デイ(平日) 14:30~17:30
	放デイ(土曜・祝日) 10:00~11:40
	放デイ(長期休暇) 10:00~16:00
定休日	日曜・年末年始・第1・3土曜日

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
(平日・放デイ)	
14:30	下校時間に合わせて送迎
	ほっとタイム
16:00	集合・プログラム開始
16:05	みらいタイム
16:25	学習
16:50	グループ活動(集団活動)
17:10	ほっとタイム
17:25	帰りの会
17:30	終了・送迎
(長期休暇・放デイ)	
10:00	集合・プログラム開始
10:05	みらいタイム
10:25	学習・作業
11:10	グループ活動①
11:30	ほっとタイム
12:20	昼食準備
12:30	昼食
13:30	グループ活動②(メインイベント)
14:30	ほっとタイム
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	終了・送迎

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
- ⑤人間関係・社会性

- ① 生活していく上でのルールの確立 ②姿勢保持や体幹を整えるためのトレーニング
- ③ 感覚過敏や外部刺激に配慮した場の構造化の中で発達レベルに応じた学習
- ④ 多様なコミュニケーション手段を活用し、相手と自分とが表出することへの理解
- ⑤ 集団生活においてルールに合わせた行動等、社会生活における適応能力を養う。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・ 同法人の別事業への移行
- ・ 相談支援事業所を通じて、地域の社会資源の活用 の提案

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・ 年に 3 回子育て学習会の開催をしている。
- ・ 親子レクリエーションを夏季と冬季に開催し、保護者同士の関わりを図る機会を設定。
- ・ 家族支援として、個別で居宅訪問やオンラインを通して継続した支援

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

具体的に、保護者の要望に応じて事業所で取り組んでいる活動内容や本人の特性に関する情報の提供を行う。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・ 上益城郡内全体向けの療育研修

放課後等デイサービス事業

事業所名 障害児通所支援事業所あすでい



基本情報

住所	上益城郡益城町広崎 1147-1
電話番号	096-285-6760
FAX 番号	096-285-6763
ホームページ	https://www.big-advance.site/s/156/1514

職種別従業者

管理者(職種)	橋口 美代子
児童発達支援管理責任者(資格)	橋口 美代子
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 ■幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考:
利用定員	10 名/日 (児発・放デイ 通じて 10 名)
利用時間	児発 9:30~12:00
	放デイ(平日) 14:30~17:00
	放デイ(土曜) 10:00~15:00
	放デイ(長期休暇) 10:00~15:00
定休日	日、月・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
14:30	順次来所
14:30～	それぞれのスケジュールに従って自立した活動をする (スケジュールの内容・・・プレイ、ワーク、カーン、ブック、タブレット、先生と勉強など)
17:00	帰宅

【具体的支援】

- ① TEACCH の考えに基づいた構造化を利用した自立支援
- ② ソーシャルストーリーやコミック会話の手法を用いた支援
- ③ PECS の考えに基づいた絵カードを用いたコミュニケーション支援

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

下記5領域に関して、本人の特異性を評価しながら、TEACCHの構造化・PECS・ソーシャルストーリー・コミック会話等を利用して、支援を実施している。

① 健康・生活

- ・スケジュール活動を通して、生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要なスキルの獲得

② 運動・感覚

- ・視覚優位／感覚の過敏性の特異性を活かした支援

③ 認知・行動

- ・感覚の特異性を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す

④ 言語・コミュニケーション

- ・受容言語と表出言語の獲得

⑤ 人間性・社会性

- ・自己の理解とコントロール
- ・自分の行動の特徴を理解するとともに、自分の気持ちや情動を知る

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行先の保育所・小中高校等への支援と支援体制の構築のため、援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達のミーティングを実施しています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援
- ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整等

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

園や学校からの相談等受けています。

これまでの取り組み・・・ASD の特性についての職員研修、学校行事の参加に対しての対策・方法の提供、学校でのクールダウンのための対策・方法の提供

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・あすでい勉強会 ～構造化～(令和5年4月21日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～学習スタイル～(令和5年6月16日)／職員全員
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年6月25日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～ASDのコミュニケーション～(令和5年9月15日)／職員全員
- ・障がい者 虐待防止のためのオープンセミナー(令和5年9月25日)／児発管
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年10月22日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～自閉症スペクトラムの理解と支援～(令和5年11月17日)／職員全員
- ・TEACCH 研修会(令和5年12月3日)
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年12月10日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者 専門コース別研修【意思決定支援(応用編)】(令和6年1月31日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～ASDの学習スタイル～(令和6年2月16日)／職員全員
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和6年2月25日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者 専門コース別研修【障害児支援(応用編)】(令和6年2月29日、3月1日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県発達障がい医療センター主催 発達障がい医療に関する研修会(令和6年3月12日)／児発管

放課後等デイサービス事業

事業所名 児童発達支援 わいわいなかま益城教室



基本情報

住所	熊本県上益城郡益城町安永 440 - 3
電話番号	096-285-5933
FAX 番号	096-285-5933
ホームページ	https://dekoboko-npo.com/

職種別従業者

管理者(職種)	川口 純子 (保育士)
児童発達支援管理責任者 (資格)	川口 純子 (保育士)
保育所等訪問支援員 (資格)	江口 真美子 (保育士)
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 ☒ 医師 □看護師 □心理士 □理学療法士 □作業療法士 □言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士 □教員免許 ■幼稚園教諭 □その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	月・火・水・金・土 (第1、3)
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 ☒ 有 ☐ 無
	放課後等デイサービス ☒ 有 ☐ 無
	備考:
利用定員	6名/日
利用時間	児発 単独 10時～11時 親子 10時～12時
	放デイ(平日) 13:00～17:00
	放デイ(土曜) 10:00～15:30
	放デイ(長期休暇) 10:00～16:00
定休日	日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間

内容

【平日の部】

13:30

送迎にて来所 荷物片付け

宿題

おやつ

お集まり

活動

・ルールを守り楽しく遊ぶ経験を重ねていく。

・ソーシャルスキルの向上

・適応反応の促進

・自立プログラム

かくれんぼ

ジェスチャーゲーム

伝言ゲーム

鬼ごっこ 等



17:00

送迎にて帰宅

【土曜の部】

午前

10:00～11:00

SST クラス (親子療育)

午後

14:00から15:30

活動クラス (単独療育)

缶蹴り

竿を作って魚釣り

そうめん流し

火起こし

山登り 等



【長期休暇の部】

10:00

送迎にて来所 荷物

宿題

活動 (お出かけ、クッキング等)

お弁当/歯磨き

14:00

活動

おやつ

16:00

送迎にて帰宅

Q & A 放課後ディサービス

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

①健康・生活

- ・メディアとの付き合い方
- ・保清について(入浴、歯磨き)
- ・お手伝い(家族としての役割)
- ・身だしなみを整える
- ・体調の把握

②運動・感覚

- ・運動課題を通して成功体験を積む
- ・2つ以上の部位を一緒に動かす運動の促進(目と手、目と足、手と足)
- ・苦手な感覚を理解し防ぐことと、活かすこと

③認知・行動

- ・見通しを持って活動する力、判断する力
- ・見て、聞いて理解し計画を立てることができる。
- ・気持ちの切り替え、感情コントロール
- ・気持ちの持続

④言語・コミュニケーション

- ・意見を言う、意見を聞く、話合いをする。
- ・相手の気持ちを理解する
- ・自分の役割を理解する
- ・語彙数、表現力の向上

⑤人間関係・社会性

- ・友達関係の中での悩みのとらえ方、心の処し方
- ・協力する力
- ・スケジュールに沿って活動ができる。ルールに沿って活動ができる。
- ・場面に応じた話し方や態度
- ・公共の場での過ごし方

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

支援します。まだ実績はありませんが、利用者の中学、高校進学時に学校を訪問して情報提供をしていく予定です。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・相談は常に受付けています。
- ・必要に応じて定期的に面談を行い、ご自宅での日頃の様子についてもアドバイスをしています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

・保護者さんからの相談、園や学校からの相談を受けて、園や学校を訪問し、先生方とお話しした結果を保護者さんにお伝えしています。家庭や学校で少しでも過ごしやすい状態になるように支援しています。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・「SSTについて」 ソーシャルワーカー 土屋 徹 氏 1名
- ・ケース検討2回 「3年男子 暴力暴言で表現する子どもの理解と対応について」
1名参加
- ・「新版K式発達検査について」 宮本 佐和子 1名参加
- ・「年中男子の運動評価」 中村 OT 1名参加
- ・「障害者虐待～障害のある人もない人も共に生きる社会のために～」 1名参加

放課後等デイサービス事業

事業所名 放課後等デイサービス えんぱわー



基本情報

住所	熊本県上益城郡甲佐町白旗 2 1 4 6 - 1
電話番号	0 9 6 - 2 8 5 - 1 8 8 0
FAX 番号	0 9 6 - 2 8 5 - 1 8 8 0
ホームページ	dzx8fk87s5.wixsite.com

職種別従業者

管理者(職種)	柴田恒美 (施設長)
児童発達支援管理責任者 (資格)	柴田浩希 (社会福祉士、精神 保健福祉士、介護福祉士、発達 障害児支援士)
保育所等訪問支援員	
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
☐ 保育士 ☒ 児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ■社会福祉士 ■精神保健福祉士 ☒ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭 ☒ その他 (介護福祉士、発達障害児支援士)	

運営形態

家族同伴	×
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	×

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有/無
	放課後等デイサービス 有
	備考：基本的に甲佐町は全域、御船町は御船、ノ 坂小学校区、それ以外の場所については応相談
利用定員	1 0 名 / 日
利用時間	児発
	放デイ(平日)学校終了時～ 1 7 : 3 0
	放デイ(土曜)休み
	放デイ(長期休暇) 1 0 : 0 0 ～ 1 7 : 3 0
定休日	土日祝日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
1 4 : 3 0	下校、来所
1 5 : 3 0	おやつ
1 6 : 0 0	集団活動
1 7 : 1 5	帰りの集まり、帰りの準備
1 7 : 3 0	活動終了、帰宅

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 規則正しい生活を送ることが出来るよう、来所してから荷物を片付けたりするまでの過程をルーティン化し、ライフスキルを子ども一人一人のペースに合った形で習得できるよう取り組んでいる。また宿題への取り組みもその一環として取り入れ、毎回決まった時間に取り組む事が出来るようサポートしている。
- ② スライム作りや粘土遊び等その他手先を使う創作活動を、子ども一人一人の課題に応じて提供し、達成感と共に力を伸ばしていけるよう取り組んでいる。
- ③ 時間や曜日の把握、活動の見通しを立てる事等を苦手としているお子さん向けに、スケジュールボードや色分けしたカレンダー等を活用し、分かりやすく目に見える形で実際の生活に活かしていけるよう支援している。
- ④ 口の中の体操等簡単に口を動かす訓練にも取り組んでいるが、基本的には周りの子ども達と日々の活動の中で楽しく関わり、その中で言葉を発したり人とコミュニケーションを取る楽しさを知ったりする事で、適切に関わっていけるよう支援している。
- ⑤ 分かりやすく目に見える形で他の人達と関わる時の距離感を学ぶことに始まり、そして必要に応じて発達段階に応じた性教育も実施し、適切に人や社会と関わっていけるような支援に取り組んでいる。また買い物や就労訓練の体験等、社会生活の実体験を積み重ねる事で、社会生活スキルの向上を図っている。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

・移行先の学校や就職先、そして事業所等に、保護者の同意を得て情報提供を行っている。
また将来の就職を考えておられる利用者に対しては、特に学校の長期休業期間を活用し、就労体験等も活動プログラムに取り入れている。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・半年に一度個別支援計画のモニタリング面談を実施しているが、それ以外でも必要に応じて面談に応じる事は出来る。
- ・日頃の活動の様子については、活動終了後保護者へお子さんを引き渡す際に、保護者の思いも受け止めながらお伝えします。
- ・利用者家族の集まり等に関しては現時点では行っていないが、今後保護者から要望があれば

ば実施する事は可能。

・その他日頃の活動の様子を SNS や月 1 回発行している通信にて発信し、日頃の言葉でのコミュニケーションだけでは伝えきれない事を、写真や絵を用いて伝えている。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

・特に園や学校との連携においては、日頃の送迎の際に可能な限りコミュニケーションを取るようにしている。またこれまでも数多く学校との連携会議を行ってきており、学校等と放課後等デイサービス事業所、それぞれの役割分担を意識して連携することを心掛けている。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

・令和 5 年度の参加実績としては、上益城圏域児童発達支援センター主催の事業所向け研修と、熊本県・市連携の発達障がい講演会（学習障害について）がある。

・その他令和 5 年度の参加実績ではないが、必要に応じて熊本県北部発達障がい者支援センター主催の各種事業者向け研修にもスタッフを派遣している。

放課後等デイサービス事業

事業所名：放課後等デイサービスエルサ甲佐教室



基本情報

住所	上益城郡甲佐町岩下 1 1 - 1
電話番号	096-283-6770
FAX 番号	096-283-6770
ホームページ	https://www.kitchenbless.jp/

職種別従業者

管理者(職種)	(保育士)
児童発達支援管理責任者(資格)	(保育士)
保育所等訪問支援員(資格)	1 名 (児童指導員)
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	×
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	○

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有/無
	放課後等デイサービス 有/無
	備考：
利用定員	10 名 / 日
利用時間	児発
	放デイ(平日) 13:30~17:30
	放デイ(土曜)
	放デイ(長期休暇) 13:00~17:00
定休日	土日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
学校休業日 13:00 14:00	来所 グループ活動 (クッキング、映画鑑賞、創作活動、おでかけ)
※以下平日と同じ	
平日 15:00 15:10 15:30 16:00 16:20 17:00 17:30	来所 個別課題1クール 個別課題2クール フリータイム 個別課題3クール 自由活動 グループ活動 個別サポート 退所

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 自己管理能力を養う
② さまざまな感覚機能を養う
③ 自由に考えたり行動したりする力を養う
④ コミュニケーションの手段を増やす
⑤ 集団の中で過ごすための手掛かりを掴む

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

担当者会議などへの積極的参加。移行支援シートの記入。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

事業所対面・居宅訪問・オンラインで可能。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

保育所等訪問支援の実施。

送迎時や直接対面、お電話での対応可能。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

ビジョントレーニング2級資格講座、ビジョントレーニングフォローミーティングへの参加、強度行動障害基礎実践研修、県指定意思決定支援研修、県指定虐待防止・権利擁護研修、SST研修

放課後等デイサービス事業

事業所名：児童発達支援多機能型事業所エルサ山都教室



基本情報

住所	上益城郡山都町小峰 7 5 9 - 1
電話番号	0967-72-9377
FAX 番号	0967-72-9377
ホームページ	https://www.kitchenbless.biz/

職種別従業者

管理者(職種)	藤澤瑞恵
児童発達支援管理責任者 (資格)	藤澤瑞恵
保育所等訪問支援員 (資格)	徳永恭子 (児童指導員)
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師 □心理士 □理学療法士 □作業療法士 □言語聴覚士 ■社会福祉士 □精神保健福祉士 □教員免許 □幼稚園教諭 ■その他 (介護福祉士など)	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	あり
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考：
利用定員	15 名／日 (児発・放デイ合わせて)
利用時間	児発 10：00～13：00
	放デイ(平日) 14：00～17：00
	放デイ(土曜) なし
	放デイ(長期休暇) 10：00～17：00
定休日	土日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
	【児童発達支援】
10：00	来所 手洗い・荷物整理 お集まり 集団自由遊び 個別指導 グループ活動 昼食・歯磨き 集団自由遊び 退所
13：00	
	【放課後等デイサービス 学校日】
14：00	下校時間に合わせて迎え 来所 手洗い・荷物整理 余暇活動 個別指導 / 自立活動 余暇活動 グループ活動
17：00	退所
	【放課後等デイサービス 休校日】
10：00	来所 手洗い・荷物整理 学習 余暇活動 個別指導 / 自立活動 余暇活動
12：00	昼食・歯磨き 余暇活動 グループ活動 余暇活動 掃除 余暇活動
17：00	退所

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 食事、衣類の着脱、排泄などの生活に必要なスキルを身に付ける。
スケジュールに沿って活動し、いろいろな活動の経験をする。
自由時間では自分で活動を選択・決定し取り組み、自己決定をしていく経験を積む。
- ② 感覚統合を目的とした運動遊びを行い、身体の調整をする。
- ③ ビジョントレーニング、SST、集団行動、人との関わりなどを通して、社会のルールやマナーを学び、社会性を身に付ける。
- ④ 言語やカード、ジェスチャーなどのコミュニケーション手段を活用し、自分の意思を他者に伝え、また、他者の意思を理解し、相互に理解をする。
- ⑤ 集った利用者、職員と共に生活・活動する（社会参加）の中で、自分の役割を果たすことで社会の一員であることを実感し、豊かな人生を送る。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

- ・情報提供書作成・提出
- ・移行支援会議への参加

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

- ・随時相談を受けている。
- ・毎月配布する書面に相談申し込みの欄を設け、相談の申し出がよりしやすくなるようにしている。
- ・保護者参加型のイベントをし、保護者同士で一緒に考えたり学ぶ時間を作っている。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・保育所等訪問支援で関係機関からの相談等を受けている。
- ・連携会議の開催依頼をしたり、会議の申し出があったときは参加し、相談等を受けている。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・ソーシャルスキルトレーニング研修
- ・不登校・引きこもり理解のための支援者研修
- ・ビジョントレーニング研修
- ・ABA 研修

- ・意思決定支援研修
- ・すらら研修
- ・虐待防止研修
- ・強度行動障害支援者研修